

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター みつばすみれ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和8年1月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和8年1月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援・専門性の高い支援の提供	個別面談を定期的実施し、保護者との共通理解を深める場を設けている。視覚的支援（写真掲示等）を用いた構造化を意識している。	子どもの成長に合わせ、掲示写真等の視覚情報を常に最新のものに更新する仕組みを作る。
2	家族支援プログラムの実施	保護者対象の勉強会や保護者会の支援を積極的に行い、家庭での対応力向上や交流の場を提供している。	勉強会への参加が難しい家庭に向けて、オンライン配信や資料共有などの情報提供手法の多様化を図る。
3	緊急時・防犯対策の徹底	玄関のオートロック化や、月1回の地震・火災避難訓練を確実に実施し、安全管理に努めている。	週1回利用などの短時間利用者にも、訓練の内容や安全対策が十分に伝わるよう、周知を強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置と現場の負担感	法令基準は満たしているものの、子どもの特性によっては、職員が不足していると感じる場面がある。	職員間での情報共有を密にし、誰でも全クラスをサポートできる体制を強化する。また、効率的な業務分担を検討する。
2	情報の提供スピードの遅さ	各クラスの活動内容や職員配置の最終確定が月末ギリギリまでかかっており、集約・公表作業が後手に回っている。 次月の活動予定（行事予定）の公表が「前月末日」となっており、保護者が家庭の予定や仕事の調整を立てるのに十分な時間的余裕がない状況になっている。	活動予定の起案を毎月15日、最終確認を20日までに完了させるなど、校了期限を明確に定める。 確定した時点で連絡用アプリ（オクレンジャー）で速やかにアップロードする。 月の予定についてはHUGに入力します。出欠入力時にご確認ください。